三重県

# 企業誘致と地域産業振興

三重県は産業振興に力を入れている。2011年度当初予算では商工関連で、環境・エネルギー関連などの企業誘致を狙った「三重の活力を高める企業誘致促進事業」に14億円を、地域資源を活用した新たなビジネス展開を支援する「地域に密着した産業への技術支援」に1800万円をそれぞれ計上し、地域産業の活性化につながる事業を推進する。

## 新ビジネス

## 環境・エネ分野に力

三重県には古くからある地場のモノづくり企業に加えて、東芝四日市工場（四日市市）やシャープ亀山工場（亀山市）、シャープ三重工場（多気町）など名だたる企業の工場が立地するなど、さまざまなモノづくり分野の工場がある。これは地道にインフラ整備を行ってきた成果だが、独自の優遇措置や誘致活動が功を奏したともいえる。

09年には独化学メーカーのエボニックインダストリーズ（フランクフルト）の日本法人、エボニックデグザジャパン（東京都新宿区）が、液晶パネル生産に必要なモノシランガスを生産する製造工場を四日市市に建設するなど良い流れは持続中だ。この流れをさらに加速すべく、11年度もさまざまな手法と知恵を凝らして企業誘致促進事業を展開していく考えで、「成長が見込まれる環境やエネルギーといった分野の誘致に力を入れていく」（県関係者）としている。

三重大学内の食品素材探索ラボ

## 〝食〟資源への支援充実

一方、地域に密着した産業への技術支援も重要な施策。これまでも県の各研究所による中小企業の技術支援は積極的に行ってきたが、11年度はとくに「みえ〝食発・地域イノベーション〟創造拠点」の食品関連産業への支援が注目されている。

みえ〝食発・地域イノベーション〟創造拠点は県内の「食」に関する地域資源を使った新商品の開発や共同研究を行う場所。10年11月に県と三重大学が中核となり、三重県商工会議所連合会や三重県食品産業振興会などが加わってできた。拠点は三重大学の中にあり、県内食品関連産業の技術の高度化に向けた共同研究や起業支援などを後押しする。

活動の中心となる施設は三重大学の「食品素材探索ラボ」と三重県工業研究所の「食品加工トライラボ」。食品素材探索ラボには、においや識別装置をはじめ食品素材の機能性や有効性を評価する各種分析機器が、食品加工トライラボには乾燥や保存の方法、加工特性の把握など食品加工技術を研究する各種設備が、それぞれ整備されている。

両施設の研究設備は合わせて54台あり、新商品の開発や加工技術の向上を目指した研究を行うだけでなく地元の食品関連企業にも開放している。

すでにラボでは三重県が全国2位の生産量を誇るモロヘイヤを使い、化粧品や介護食品、機能性食品などの開発プロジェクトをスタートさせている。このほかにも山海で採れる野菜や魚など天然資源を活用した高付加価値商品の開発や新ブランド構築を進めており、今後の成果が期待される。

## 産学官連携

## 中小シンジケート 行政が後押し

三重県の中小企業の中には産学官連携で研究開発に取り組み、一定の成果を挙げている企業が多く見られる。中小企業同士がスクラムを組む企業連合（シンジケート）もあり、新産業・新技術の創出に力を入れている。

こうした活動を後押ししているのが四日市市塩浜町に整備された高度部材イノベーションセンター（AMIC）。ここには現在、三菱化学、NTN、太陽化学といった大手企業が入居し、燃料電池など最先端の研究開発が行われる一方で、県がプロジェクトメーキングした研究開発が進む。その一つに「希少金属（セリウム）の代替材料の研究開発」がある。このプロジェクトは新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託研究開発事業として、2009年度からの5カ年計画でスタート。三重県産業支援センターやファインセラミックセンター、秋田県産業技術総合研究センター、九州大学をはじめ、地元から小林機械製作所（四日市市）も参画している。

小林機械製作所は自動車向け金型や専用工作機械の製作が主力。同プロジェクトへの参画をきっかけに、10年3月にはAMIC内に完成した加工技術研究棟にも入居。本格的な研究を始めた。10年12月に開かれた成果発表会では、ガラス基板製造工程の研磨で使われるセリウムの濃度を従来の5分の1に低減しても、約2倍の研磨効率（レート）を上げられる電界トライボケミカル研磨システム実証機を紹介。今後は、大型ガラス基板向け精密研磨用システムのガラス製造ラインで実用化できるように改良を進めていくという。

三重県では昨年、専門分野の異なる中小のメーカーがスクラムを組み、二つのシンジケートが誕生した。技術や情報を共有しながら

試作サポーター四日市の開発風景

## 専門越えて商品開発

## 有志団体

互いの技術レベルを向上させ、試作品開発や部品の共同受注に結びつけるのが狙い。

四日市機械器具工業協同組合の有志らが10年2月に設立した「試作サポーター四日市（SSY）」と、桑名鉄工協同組合青年部会の有志らが同年6月に立ち上げた「桑名ものづくりPROJECT」だ。

SSYは、機械加工や金型製作を手掛けるメーカーを中心に工具商社など16の企業が参加。昨年末までに試作品や機械関連部品の製作など約60件を受注し、そのうちの20件をこなすなど着々と実績を積み上げている。中でもIH（電磁誘導加熱）を活用した取り組みに定評がある。11年1月には信用度を高めるために任意団体から株式会社へと改組。今後はさらなる受注増を狙うと同時に「IHを利用した加熱応用装置の開発に力を入れていく」（仲井聖憲SSY社長）と語る。

一方、桑名ものづくりPROJECTには15社が参加し、すでにペットボトルの回収装置などの共同製作も始まった。環境とモノづくりをテーマに掲げ、今後も活動していく考えだ。県の関係者によると今後もこうしたシンジケートの動きは、鈴鹿市や伊勢市などほかの地域でも活発化しそうだという。

電界トライボケミカル研磨システム実証機

井村屋 あずきバー
“あずきで笑顔”キャンペーン
7月1日は井村屋あずきバーの日。
―日本記念日協会認定―
おいしい！の笑顔をつくる 井村屋株式会社

多彩な品揃えで快適な生活環境づくりを支援します。 humanity & intelligence for urban amenity
ルーフドレイン　歩水ピット蓋　フロアーハッチ　免震構造建築用エキスパンションジョイント　車止め　U字溝用スリット蓋
カネソウ株式会社 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地 TEL(059)377-3232 FAX(059)377-3905 http://www.kaneso.co.jp/ E-Mail : info@kaneso.co.jp

安永の製品は、さまざまなステージで活躍しています。
エンジン部品として… コンロッド　シリンダーヘッド
太陽電池シリコンウエハーのスライス加工として… ワイヤソー
Yasunaga 株式会社 安永 〒518-0834 三重県伊賀市緑ケ丘中町3860番地 TEL(0595)24-2111 FAX(0595)24-0052 http://www.fine-yasunaga.co.jp/

Connect with the Best
聞こえてきた！人とくるまの楽しい会話
住友電装は“Total Wiring Systems”を提供し、人とくるまの新しい関係をより安全で快適なものにします。
住友電装株式会社 Sumitomo Wiring Systems, Ltd.
本社 三重県四日市市西末広町1番14号 〒510-8503 TEL(059)354-6201 FAX(059)354-6318
東京本社 東京都港区芝浦3丁目9番1号 芝浦ルネサイトタワー8階 〒108-0023 TEL(03)6384-5600 FAX(03)6384-5601
http://www.sws.co.jp

物流と人のハーモニー TRANCY
都市から都市へ、人から人へ、世界に拡がるグローバルな総合物流企業
日本トランスシティ株式会社 〒510-8651 三重県四日市市千歳町6番地の6 TEL:059-353-5211 FAX:059-353-4370 http://www.trancy.co.jp

次に向かう、チカラになりたい。
お気軽にご相談ください。
ビジネスローン・国際ビジネス支援・M&A
確定拠出年金・債権流動化・ビジネスマッチング
百五銀行 FRONTIER BANKING
インターネットホームページ http://www.hyakugo.co.jp/
FRONTIER BANKING

うれしいを、つないでゆく。
Mie Kotsu Group
三重交通グループホールディングス株式会社 〒514-0032 三重県津市中央1番1号 http://holdings.sanco.co.jp/

■機能性食品素材 ■乳化剤 ■安定剤 ■香料・果実加工品
■卵加工品 ■加工食品 ■化成品 ■医薬関連品・化粧品用素材
太陽化学株式会社 TAIYO KAGAKU
四日市本社／〒512-1111 三重県四日市市山田町800番 TEL(059)340-0800 FAX(059)328-1430
東京本社／〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目6番3号 TEL(03)5470-6800 FAX(03)5470-6804
http://www.taiyokagaku.com